



今年六月。三鷹市と武蔵

野市にまたがる都立井の頭恩賜公園内の井の頭池は、一年で最も美しい時期を迎えていた。透明度が上がった池を覆い尽くすように絶滅危惧種の水草「ツツイトモ」が繁殖し、水面で無数の小さな花をつけた。人気の水鳥カイツブリのつがいの子育てにいそしみ、水草の上ではのんびりと甲羅干しをするスッポンの姿…。

「驚くべきほどの変わりようです。劇的と言っても過言ではない。自然の回復力の強さを感じます」。池の様子に認定NPO法人「生態工房」(武蔵野市)で事務局長を務める佐藤方博さん(47)は感慨深げだ。脳裏に浮かぶのは、外来魚に占領されていたかつての池の様子だ。水は茶色

かいぼりで自然再生を

く濁り、夏にはアオコが発生していた。

ラックバスの完全駆除に成功した。よごんでいた池の水質改善が進むと同時に、

S)に投稿し、大きな話題になった。「「モネの池」

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

池では二〇一三年度から一七年度にかけ、三度にわたり池の水を抜き、池底を天日で干す「かいぼり」が行われた。佐藤さんはかいぼりのコーディネーターとして陣頭指揮を執り、特定外来生物のブルーギルやブ

長年池の底に眠っていたツツイトモなどの希少な水草や藻類が復活を遂げた。

の美しさに驚いた来園者が「まるでモネの池のよう」と会員制交流サイト(SN

知名度の高い井の頭池での成功が目ざされ、佐藤さんの元には池の環境悪化や外来魚に悩む公園や自治体

「驚くべきほどの変わりようです。劇的と言っても過言ではない。自然の回復力の強さを感じます」。池の様子に認定NPO法人「生態工房」(武蔵野市)で事務局長を務める佐藤方博さん(47)は感慨深げだ。脳裏に浮かぶのは、外来魚に占領されていたかつての池の様子だ。水は茶色

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

「かいぼりは池の生態系復活の切り札です。〇一年に練馬区内で初めて手がけて以来、こつこつと実践を重ね、積み上げてきたノウハウを生かした」。今では

NPO法人「生態工房」事務局長

佐藤 方博さん(47) = 武蔵野市



トレードマークのすげがきを手にする佐藤方博さん(三鷹市)

さとう・まさひろ 埼玉県所沢市生まれ。日本野鳥の会や日本自然保護協会などの活動に参加。1998年に仲間と市民団体「生態工房」を設立して、2002年にNPO法人化。自然の保全・再生を市民参加で進めている。生態工房は、電0422(27)5634。

「自然再生を目指すかいぼりは池の水を抜くだけでは終わりません。水を抜いた後に外来魚の駆除の徹底はもちろん、池底の天日干しは不可欠です」。かいぼり後に池の自然を保つには「地元住民と協力しながら継続的に取り組むことが大切です」と力を込める。(花井勝規)